

第3学年 英語科

1. 英語って何を勉強する教科？

英語学習には、「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の4つのポイントがあります。英語は日本語と同じく「言語」です。みなさんは生まれた時から日本語がペラペラでしたか？小さい頃からたくさん漢字が書けましたか？たくさん使って、何度も間違えて覚えたはずです。英語も「使うこと」が何よりも大切であり、習得の1番の近道です！

日本語を身につけるにしても、みなさんはこれまで10年間以上、たくさん「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」練習をしてきました。当然、英語だって身につけるためには同じくらいの努力が必要です。逆に、本来は言葉を身につけるといふことに「苦手」はないはず。赤ん坊のように、「分かってほしい！話したい！」という関心、意欲がその努力を「苦勞」「大変」ではなく「ワクワク」に変えてくれるはず。

2. 学習の仕方

○授業の中で大切にしてほしいこと（授業の受け方等）

- (1) きちんと準備をし(教科書、ノート、ファイルなど)、忘れ物をしない
- (2) 予習と復習を行う
- (3) 音読練習は、声を出して練習する
- (4) ノートは丁寧に作成する
- (5) たくさん英語を使う

○家庭学習で（継続して）取り組んでほしいこと

- (1) 計画をしっかりと立て、見通しをもった家庭学習を行う
計画通り、毎日、実行することはもちろん重要です。しかし、なかなか計画通りにはいきません。大切なことは、「変更・見直し」をするということです。
- (2) 授業・課題の中心は、教科書とワーク
ワークは、基礎問題・応用問題・発展問題（自己表現等）からなっています。答え合わせをして、自分が間違えたところは、正解するまで繰り返し取り組みましょう。自主ノートを活用し、計画的に学習を進めることも大切です。

A：暗記する内容・・・短時間で、繰り返し行いましょう。
ア：単語・熟語・基本文・・・目で見、口で発音して、耳で聞いて、覚えましょう。

イ：教科書等の本文・・・声に出して読みましょう。

B：理解して覚える内容・・・時間を確保し、理解しながら、必ず書いて覚えましょう。
(文法・問題等)

- ☆(1)(2)の他に、もっと英語を頑張りたい人は次のことをやってみるのもアリですね！
- ① 英語の音楽を聴いてみる。…Youtube でディズニーの曲や、世の中で話題になっている曲を聴いてみるのがお勧めです。
 - ② 英語の映画を字幕付きで見してみる…内容がわかっている映画を英語で見返すと英語を聞く力が身につけてきます。
 - ③ SNSで外国の有名人をフォローしてみる…Twitter, Instagramで気軽に英語を目にすることができます。
 - ④ ALTの先生に話しかけてみる…初めは「Hello!」から。少しずつ会話ができるようになるかもしれません！

○受験勉強で、取り組んでほしいこと

受験(検)のための勉強といっても特別なことがあるわけではありません。日々の家庭学習を中心とした地道な学習の積み重ねが大切なのです。特に、次の2点を大切に考え実践しましょう。

- (1) 1・2年生の復習は、1学期中に終わらせる。
3年生の内容が最も少なくなります。1学期の内容は、夏休み中に復習しましょう。
- (2) 校内実力テストに向けて、計画的に学習を進める。
年間出題予定が、最初に出されます。「できるだけ毎日行う内容(暗記中心の内容)」と「月に別計画的に行う内容」の2つにわけて計画を立てましょう。

3. 一年間の学習内容と目標 (何ができるようになってほしいのか)

※目標を達成することができたら○をつけ、自己評価しましょう。

	3年学習到達目標	関連箇所	1学期	2学期	学年末
聞くこと	① 社会的な話題であっても、はっきりと説明されれば要点を理解することができる。	とびらのリスニング			
	② 自分の考えと比較しながら、話し手の考えを理解することができる。	L7-1,2,3 Activities Plus			
読むこと	① 社会的な話題の文章を読んで、書き手がもっとも伝えたい大事な部分を理解することができる。	Reading Further Reading			
	② 物語や説明を読んで、物事の順序や大切な部分を理解しながら、内容を理解することができる。	L1-3 Tips3 Tips5			
話すこと【やり取り】	① わからなかったことなどを聞き返したりしながら会話を続けることができる。	L5-2 L6-3 L7-1			
	② 社会的な話題であっても、準備をすれば考えたことや感じたことなどを述べ合うことができる。	L4-3 L5-1,2 Tips7			
話すこと【発表】	① 準備をすれば、聞き手を説得するスピーチやプレゼンテーションを行うことができる。	L3-1 Project			
	② さまざまな話題について、即興で自分の考えを述べることができる。	L5-3/L6-1,2,3 L7-1 Activities Plus			
	③ 教科書の内容について、自分で調べたことを加えるなどして、事実や感想を述べるることができる。	L1-2 L3-2,3			
書くこと	① 理由や例をあげて、相手に説明する短い文章を書くことができる。	Tips6			
	② 構成を考えて、読み手にわかりやすいまとまりのある文章を書くことができる。	Tips2 L4-1,2 Tips4			
	③ 聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えを書くことができる。	L1-1 L2-1,2,3			

4. 評価の観点・内容及び評価方法

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ●外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 ≪主な評価項目≫ 定期テストや単元テスト、単語テストなど
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ●具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科などの学習内容と関連付けながら、互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合っている。 ●聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 ≪主な評価項目≫ 会話やスピーチ、プレゼンテーションなど
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ●他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ●言語やその背景にある文化に対する関心を持って、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ≪主な評価項目≫ 授業中の挙手や発表、積極的な活動参加の態度など

☆英語は、『話すこと（やりとり・発表）・書くこと・聞くこと・読むこと』の4技能・5領域です。そして、その5つを支えるのが、『関心・意欲・態度』なのです。間違いを恐れず、積極的に授業に取り組むことが何よりも大切です。また、評価・評定は、定期テストだけでなく、普段の小テスト、夏休みなどの長期休業後の課題確認テストに、授業への取り組み等を加えて、総合的に判断します。